

ハンマーの柄と加減弁の突起部で指を挟んだ

【発生状況】

タービン加減弁のボルトをボルトヒーターを使用して緩めていた際、ボルトの伸びをハンマーの打音でチェックしていたところ、ハンマーの柄と加減弁の突起部との間で指を挟んだ。(開放骨折)



【原因・問題点】

- ①ハンマーを振る範囲内で突起物があることを確認していなかった。
- ②ハンマーの柄の長さが適切でなかった。

【対策】

- ①ハンマー作業を行う際は、手指を挟んだりぶついたりするようなものがないか事前に確認する。
- ②作業内容に適した大きさ・長さのハンマーを使用する。